

# なま

4月号  
vol. 194



特集  
だから、  
歩んでゆく

第2回

インターネットと  
人権侵害

「人と文字が出会いなおすところ」  
西成しぎし・にほんご教室

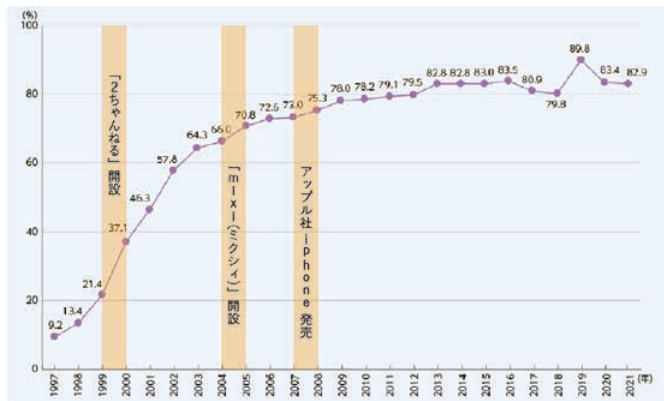


図1 インターネット利用率(個人)の推移(総務省『通信利用動向調査』の図に追記)

2004年には会員制のコミュニティ「mixi」が誕生し、SNSが世に知れ渡ることになる。そして2007年にアップル社から発売されたiPhoneは携帯電話の概念を大きく変え、誰もが簡単にインターネットを利用できる環境を築き上げた。それ以来、インターネットは私たちの

生活全体を覆い、大きな影響を持つに至った(図1参照)。

### ネットの困った特徴

誰もが自由に情報発信できるのはネットの素晴らしい側面であるが、半面で人権侵害を助長することにもなる。思いつく特徴をいくつか挙げてみよう。第一に、スマホなどのモバイル端末は、時間も場所も問わず、そして誰にも知られることもなく、手のひらから気軽に意見や考えを発信できるようにした。

第二に、ネット上には多様な見解や価値観が存在するが、ネットのユーザーは必ずしも満遍なくそれらの情報に接するのではなく、自分の価値観や好みに合った情報にばかり触れる傾向がある。YouTubeの「AIレコメンド機能」と呼ばれる仕組みはそうした傾向を助長する。例えば、自分で選んだ動画を観ていただけのはずが、おすすめ動画に興味を惹かれ、ついつい観てしまったことはないだろうか。これは視聴者の興味を惹きそうな動画を優先的に

表示する機能に誘導されているからである。差別的な動画を好む人はおすすめされる同じような動画の視聴を通じて差別的な価値観や偏見を強めていくだろう。

### ネット上で生じた部落差別

第三に、一度ネットに載った情報は広範囲に拡散し残り続けてしまうことだ。駅構内の差別落書きの場合、それを目にするのは駅の利用者や駅員などかなり限定された人びとである。そして、消去された落書きの痕跡が気付かれることはほとんどない。しかしインターネットではそうはいかない。ネットに差別的な書き込みをすると、即座に世界中のネットユーザーに目撃される可能性が生じ、コピー＆ペーストなどで簡単に拡散できる。そうなることを削除することは困難となり、半永久的に残り続けてしまうのだ。

部落差別もまたインターネットやSNSの発展に伴いその形を変えてきた。2016年2月「鳥取ループ」なる団体がAmazonのサイトで『全国部落調査復刻

# だから、歩いてゆく

第2回  
インターネットと  
人権侵害

幸せは歩いてこない…。どうやら差別は簡単にはなくなりそうにない。この世からあらゆる差別がなくなる「幸せ」はやってくるのだろうか。だから、歩いてゆく。これまで歩みながら考え感じてきたことを率直に語ってみたい。部落解放同盟西成支部創立70周年記念特別企画(全3回)。  
『なび』編集部歩こう会

### インターネット 新しい生活インフラ

直近の約四半世紀で、インターネットは私たちの生活にとって切っても切れないものになってしまった。買いたい物は商品をタップするだけで、翌日に届くことも珍しくなくなった。何かを調べたければGoogleが答えを教えてくれるし、映画やアニメ等もレンタルショップへ行かずとも家で楽しむことができる。インターネット環境さえあれば、世界中の人々と気軽に連絡が取れる。この新しい生活基盤インフラによって距離という障壁は少しずつ乗り越えられてきた。

インターネットが一般に普及する大きな契機は、マイクロソフト社からウィンドウズ95が発売された1995年だといわれている。当時のインターネットは個人が作成するホームページや掲示板が主流であった。1999年に開設された匿名掲示板「2ちゃんねる」は既存メディアでも大きく取り上げられ、多くの人が利用するきっかけにもなった。

版』の販売予約受付開始をSNSやウェブサイトで告知した。この書籍には現在閲覧が制限されている行政資料の情報が記載されており、かつての「部落地名総鑑」の再来といえる。

その他にも鳥取ループは、部落解放同盟関係者の個人情報ウェブサイトに勝手に掲載したり、部落の所在や地域の様子を無断で公開する動画「部落探訪」をYouTubeにアップロードしたりした。約170本ある動画の中には再生回数が50万回にのぼるものもあり、広告料は鳥取ループの資金源の一部になっていた。いずれも、本人の了解を得ずに本人が公表していない個人情報を第三者に暴露する「アウティング」行為である。



同年3月22日、部落解放同盟は『全国部落調査復刻版』の記載事項を掲載したウェブサイトに

載禁止の仮処分を横浜地裁に申し立て、28日、横浜地裁は掲載禁止の仮処分を決定した。続いて4月19日に部落解放同盟と同盟員248人が原告となって正式な出版・ウェブサイトに掲載の差し止めを求め、東京地裁へ提訴した。

提訴内容は①「復刻版」の出版差し止め、②「全国部落調査」と「復刻版」、「部落解放同盟関係人物一覧」のウェブ 사이트からの削除、③上記の出版や情報掲載による「差別を受けたい権利」、プライバシー権、名誉権の侵害に対する約2億5千万円の損害賠償である。

この提訴から5年半以上が経過した2021年9月27日、東京地裁が判決を出した。判決内容は詳述できないが、地名リストの公表が住所や本籍と結びつくことで容易に身元調査に使われるとし、プライバシー侵害を認めた点は評価できる。しかし、「部落出身などの個人情報幅広く知られている、知られていることを容認している」とされた一部原告についてはプライバシー権の侵害も損害賠償も認められなかった。また、「復刻版」の出版やウェブサ



イトからの削除は権利侵害を認めた原告の都府県に限られ、「差別を受けたい権利」もアウティング被害も認められなかった。

## ネット上で対抗する

部落解放同盟や自治体、法務局などは、「部落探訪」がアップされた当初からYouTubeを運営するグーグル社に対して削除要請を繰り返してきたが、4年のあい

だ削除されることはなかった。ところが昨年、事態が好転した。

鳥取ループの差別行為に反対するために裁判情報や部落問題の基礎知識などを提供するサイト「ABDARC」(アブダーク:Anti-Buraku Discrimination Action Resource Center)が、2022年11月13日、YouTube動画の削除を求めるオンライン署名を開始し、2週間後の29日現在で約28000名の署名が集まった(図2参照)。23年3月20日時点で29779名)。

この活動が功を奏したのだろうか、12月2日付の『NHK NEWS WEB』は、グーグル社が鳥取ループの動画「部落探訪」を一斉に削除したことを伝えている(※)。当社は「ヘイトスピーチに関するポリシーに違反した」と説明しているが、その詳細はわかっていない。憶測の域を出ないが、差別に抗する多くの声をネット上で可視化すれば、規制に一定の効果をもたらすかもしれない。アブダークのように、差別行為に対して毅然と反対を訴えていく活動は引き続き重要である。

インターネット上の人権侵害は社会全

図2 ABDARCのオンライン署名活動 約3万人の賛同者集まる

において「インターネット上の特定の地域を同和地区であると指摘する情報は、通常、プライバシー侵害を理由とする差止めにより削除することができる」と、人格権の侵害という違法性を認めている。

また、プロバイダ事業者に対しても「特定の地域を同和地区であると指摘する情報について削除依頼等を受けた場合には、差別を助長・誘発する目的があるかどうかにかかわらず、約款等に基づき、削除を含む積極的な対応を採ることが期待される」と自主的削除を求めている。このように約款・利用規約に明確に位置付け、SNS事業者が自主的に削除をおこなえば、人権を侵害する情報がネット上に残り続けることは防げるだろう。

インターネットという私たちの新しい生活インフラを「良きもの」とするために、できることを考え実践していかなければならない。

※「ユーチューブの被差別部落の地名や風景の動画を削除」グーグル「(https://www.3nhk.or.jp/news/html/20221202/k10013911151000.html)2023年6月21日検索。



# 遊び編 3



毎週土曜日開催の楽塾は22年夏に開塾15周年を迎えました。楽塾の理念はあそびを学び、まなびを遊ぶ。新しい学校の冒険。様々な地域や場で多彩な居場所づくりに汗する人々に、参考にしてもらえればと思います。これまでに行った(あそび)を隔月連載で紹介します。

## 積みあげゲーム

今年も体力、持続力、栄養力を!!

廃棄寸前の紙製やプラスチック製容器などを利用して、それらを厚手ボール紙上に載せて積みあげ、高さを競いあい遊ぶゲームの紹介です。このゲームの面白さは、容器を積み上げていくほどバランスが不安定になるところ。苦勞し何とか立て直し完成させていくのか、あるいは積みあげてきたものすべてが一挙に崩れ去る結果となるのか、一人ひとりが順番にプレイするスリリングなゲームです。



### 積みあげルール

積みあげる手順は、例えば3体以上の牛乳パック大を基礎とし(一段目はボール紙不要)、その上にボール紙を置いて別種のペットボトル小を載せる。三段目にはガムボトル、四段目にペットボトル大というように、各段には同種の容器をボール紙上に載せて段数を積みあげていきます。容器は使い残さず全て積みあげるのが鉄則です。途中で崩れたり倒れたりすれば残念ながらゲームオーバー。

すべての容器を積みあげ全体が安定しているうちに高さをメジャーで測定、その高低差で順位を決めます。積みあげていくものはすべて軽量の物体たちです。それぞれ厚手のボール紙の上に載せて高くなっていくほどバランスが悪くなります。最後まで安定感を保ちつつ物体をなだめ、しかもよ



天井まで届かせるわん!

### ゲームに必要なもの

ペットボトルや牛乳パック、ジュースパック、ガムボトルなど使用後の容器たちが主役です。これら同じ高さのもの3体以上を一組(ユニット)にして、いろんな種類と高さのユニットを何組か用意します。そして、これら容器を積みあげるための台、例えば郵送用梱包箱など厚手のボール紙を自由に切り取り用意します(例:横25~35cm、縦15cm~25cm程度を10枚程度。これは目安で、様々な寸法や形であってもOK)。



メジャーで高さを測るわん!

り高く積みあがった瞬間にメジャーで測り、高い記録を打ち立てましょう。

### 様々な素材を使って

楽塾で2年前に実施した「積みあげゲーム」を、本誌掲載の参考に再開しました。当時容器はガムボトルのみで、容器類をより豊富で雑多に増やし、ゲームの緊迫感が強く刺激的になりました。背丈のちがうペットボトルや牛乳パック、ジュースの空きパック、ガムボトル等々のほか、ここにはないどんな容器でも利用は可。捨てずこのゲームのために保管しておいてください。ゲームのルールや素材は、それぞれの場で新たに創作してもらえれば嬉しいです。何よりゲーム後の空腹感はいつものながら「食事」で補給!がたまらないのです。

えと文…楽塾 佐々木 敏明



【谷口円】無印良品の「背当てにもなるやわらかマルクッション」が、今イチオンです。もちもちした独特の触感にハマること間違いなし。背中にあてても、お腹に乗せても、バツグンです。



【田岡秀明】大阪首長選の争点はカジノとコロナ総括だろうが、府市議選は議会過半数も焦点。政治では決めることは大切。でも、身近な地方議会は多様な声を反映するものであってほしい。



【沖田一志】我が家の車が17年目の車検。これだけ古くなると同型の車種を見かける機会も少なくなってきた。ポチポチ故障は発生するがそんなに困ってない。いつまで乗り続けられるんやろか?



【飯澤峰生】花粉症の季節がやってきてますね～。嫌な季節だと感じてる方が多いと思います。私はまだ花粉症にはなっていませんが、毎年、いつ花粉症になるんじゃないかびくびくしています(笑)

# おかんのため息

- おかん はあ…。あんた、覚えてるか、夏江さん。
- ◆ 息子 うん。しばらく会ってへんけど、どないしてるんかなあ。
- この3月に近くの施設に入りはるねん。
- ◆ え、そうなん!? あんな元気にしてはったのに、年月が流れるのは早いなあ。
- これで会うことなくなったから、いま“夏江ロス”やねん。
- ◆ よく“ロス”になるね。たしかに不思議と魅力のある人やった。
- 夏江さん、若い頃は難波でスナックのママやっててんで。
- ◆ そうやったんか。言われてみれば、そんな雰囲気あったな。
- 昔、美人やったやろうなあ。和風美人じゃなくて、色が白くて目パッチリ系のお店でもモテたやろうなあ。
- ◆ 身なりも「theおばあちゃん」って感じじゃなくて、とてもオシャレ。でも、我は強い。全然、オブラードに包まんから言葉はキツかった。
- そうやな。カウンター越しでしゃべってるぐらいでちょうどええかもな。隣のお客さんと仲良くしゃべりながら飲むタイプとも思えん。
- ◆ ぜったい喧嘩になる(笑)
- 行きつけやった近くのお店でもママと仲良かったと思うわ。勝手に妄想やけど(笑)
- ◆ 施設に入るとなかなか会えんようになるね。

- 認知症は進み具合でずいぶんちがう。別の利用者さんやけど、まあがんばって話して気良く歩行器を使ってくれた。「ありがとう」とも言うてはったし信頼関係できたと思ってんけど、何回か転んだらしくて、「あの女が持ってきたからやあ!」ってなったらしい。けど家族の人は「誰かわかってないと思う」って。
- ◆ 歩行器を持って来た「悪いヤツ」とおかんが同じ人やとわかってないってこと?
- うん。昔やったらすごい傷ついてんけど、今はそういうのも「いやいや、大丈夫でしたよ」って全然受け入れられた。そう理解できるようになった自分もおるねん。
- ◆ 病気がさせてることやからねえ。
- でも、病気やとわかってても夏江さんにすごい言われた時は、むっちゃしんどかった。
- ◆ 何言われたん?
- 何やったかな? 忘れたけど、自分なりに信頼関係できてると思ってた人に言われたときほど、ヘコむねん。けど、最終的には鍵を預けてくれるほどの信頼関係ができてた。「返すわ」って言うても「いや、それは持つといて」ってくらいやで。
- ◆ なんでそんな信頼関係できたん?
- 勝ち取ってん(笑) 結局、何かなって思ったら、根っこの波長とか相性とかかなんかな。
- ◆ 不思議なもんやねえ。ヒドいこと言われたら行きたくなくなるほうが多いのに。
- 「あ、行かなあかんわ」って行ってたなあ。そうや、ヒドいことって言ったら、ケアマネさんが教えてくれたんやけど、施設に来た調査員さんが自己紹介で名札みせて「見えますか?」って聞いたたら、「ちゃんと見えてるわ! 大した顔じゃあるまいし!」って夏江さん(笑)
- ◆ 相変わらずの悪態ぶりやね(笑)
- ケアマネさん、それが可笑しくて可笑しくて、マスクの下でずっと笑ってたらしいで。

つぶやきます。※本文は関係者各位の許可をとって掲載しています。



2月25日に大正区民ホールでGCCキッズインターナショナルスクール発表会を開催☆ 和太鼓・楽器演奏や歌やダンスなど、この日に向けて練習した成果を存分に披露しました♪ 子どもの成長を感じた1日でした☆



GCC Kids International School



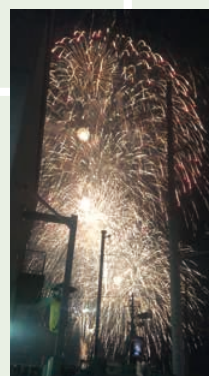
## 季節外れの打ち上げ花火

先日、友人がこの世を旅立った。生前、いろんなことに挑戦したいと言っていた。一緒に見た打ち上げ花火を思い出した。その迫力にやっぱいいね、とその時書き留めた文章を。

人混みを掻き分けて、目指すは出来るだけ川辺に近いところ。9月の雨上がり、数年振りの花火大会は無事に決行された。打ち上げ花火にも、きつと楽譜があるのだと勝手に想像してみた。その華やかさは、メロディを奏でる高音楽器。重低音スピーカーにも負けない全身に響く打ち上げ音は、曲全体を支え、時にリズムカルに進ませる。時折見せる静かな空は休符で、思わず息をのむ。ふっとステージがどこまでも広いことを教えてくれる。ファイナレはアンコールさながら、これでもかと盛大にぶちまける。光っては舞い散る時間芸術。

花火大会はこれでは終わらない。終焉とともに、人も夜に舞ってゆく。花火より長い時間をかけてゆつくりと。急がず気長に余韻に浸りながら、ご冥福をお祈りします。

(安田拓也)



(安田拓也)



[安田拓也] ある子の卒業式に他の親御さんと並んで参列した。学校に対して積極的でなかった彼が、卒業直前にもう一年勉強したい、と言った。失うときに惜しくなるもの、と背中を押した。



[福井龍磨] 岡松和夫「志賀島」を再読。終戦前後の博多が舞台の短編である。夏の海の匂い、移りゆく時代、無名の人々の肖像。派手さはないが本当に良い小説だと思う。1975年の第74回芥川賞受賞作。



[西原夏美] 今年、すごい気に入っている作品がアニメ化決定! 情報を知ったときは「待ってました!」ってなりましたね。最近アニメとか観てなかったんですがこれだけは観たいです。



[西田吉志] 3月11日、大阪フィルハーモニー会館にて「部活解放同盟西成支部結成70周年記念集会」を開催。西成発の和太鼓ユニット「心」の発表。未来ある部活解放運動やまちづくりに向けた挑戦を提起した。

# 葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



## 「チューリップの葉っぱ」の巻

あなたに初めて会ったのは寒いころ。  
ちいさな姿にとても心配。  
守ってあげると心にちかう。  
雨の日は傘になり、風の日は盾になる。  
あなたと共に過ごせる今は暖のころ。  
ステキな姿にとても幸せ。  
頑張つてとエールを送る。  
笑顔でうなづくあなた。  
ちよっぴり寂しいわたし。

赤井まゆみ

### チューリップのこと

1本の茎を大切に包み込むような特徴ある葉の形。  
花言葉は「思いやり」

# い湯かげん

## 都市力は競争か、参加か

4月の統一地方選挙、注目は大阪府知事と大阪市長選挙。常勝おおさか維新の対抗は、政党から独立して「市民派」を自任する「アップデート」おおさか(代表:西村真一)サクラクレバス社長)だ。過去二回、西成区出身の柳本顕候補こそ市長にふさわしいと期待したが、自民色が抜けきれずに敗れた。これからは知事、市長選はずっと「市民派」が良いとボクは思う。

アップデートとは、維新府市政の「刷新」という対決姿勢ではなく、その先、その上を睨んだ「更新」という趣旨なんだろう。ボクは共感する。アップデートおおさかの公約で一番注目したのは教育だ。教育無償化推進だけでなく、フード

バンクやこども食堂、子育て、学校、学級支援、シングルマザー支援といったNPO活動などを府市政のパートナーと認め、円卓会議のような意思形成の場を設ける。それが維新府市政の「更新」らしい。功罪ある維新の罪は「競争」への傾きすぎだと匂わせている。とても共感する。

もう一つの注目はちよつと耳慣れない「府市の公契約にESG投資を導入する」という項目。環境(E)や社会(S)との合意(G)という世界の合言葉で、府市事業における民間との契約(公契約)にこの理念を導入するという発案だ。これには公契約に障がい者雇用等

(2019年施行)という先例がある。競争(営利)に偏り過ぎな維新府市政による民間との提携のその先、その上をめざす「更新」のようだ。これも大いに共感する。

教育も公契約もボクには重要で、おおさか維新とアップデートおおさかのちがいが鮮明で分かり易い論争点だと思いが、マスコミにはスルーされそうだ。「カジノ(成長)」と「保健所(安心)」を争点と見るのではないだろうか。アップデートおおさかは、おおさか維新の一番の失策は保健所の統廃合とし、保健所の増設から始まって地域福祉人材育成、さらにコロナ対策の検証、大規模地震対策など「安全安心な都市」への投資に舵を切るべきと主張している。一見、普通だが、実は安全安心への投資は府域経済を循環型にアップデートし、インバウンド(外国客の消費)依存からの脱却にもなるとしている。さらに公有地や公共施設の再活用によるまちづくりを循環型経済に位置づけており、ボクは大賛成。選挙戦でもっと具体的な政策を聴きたい

3月11日、西成支部70周年の記念集会を開催した。33年間の特別措置法のもとで大阪市行政と進めたまちづくりは2002年で終わり、そこから約20年間の法なき時代は、民間企業やNPOの皆さんとの協働事業や隣保館運営を考えてきた。記念集会ではここ10年のまちづくりや隣保館の実践を振り返り、次の10年を見据えた活動方針を提案した。

しかし一方で、もう少し時間をかけて20年、30年という中長期のスパンでも運動や事業のあり方を考えなければならぬだろう。支部の関連事業は全体的には拡大してきたものの現代社会の変化はきわめて速い。2~3年後の情勢を掴むのも難しいが、拡大した事業を担う人材の育成は一朝一夕にはならない。71年目からの運動ならびに事業を考えるにあたっては次代に引き継げる姿かたちを模索していきたい。

(寺本良弘)

# 皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

と思う。  
さて、カジノ。アップデートおおさかの主訴と目される「カジノ」住民投票は大仰に取り上げられそうだが、肝は「情報公開」の方だ。知事選は「絶対反対」の候補が出て三択。大阪市長選は二択だからかえって民意は測りにくくなる。あまりにも短い選挙戦で情報公開への関心を高めるのは難題だ。しかし、都構想住民投票の時のように、選挙中でも何が飛び出すかわからない問題だから目を離せない。  
競争万能か市民参加か、どちらに将来性があり都市力を高めるのか、そういう視点で選挙戦を勉強の機会としたい。この拙稿は3月8日に書いた。



[山村裕太]「ちいかわらんど」という「ちいかわ」好きには楽しすぎる場所があります。行かない理由は散財してしまうことが目に見えているからです。よく自制できていると自分を褒めたいです。



[若松司]「市民交流センターにしなり」の建物が解体された。西成の空ってこんなに広がったわけ。次は何が建つんだろう。束の間(?)の春の青空。

地域の縁を心でつなぐ

# 心の時間



「極楽箸」という説話をご存じでしょうか？人の腕ほどの長さがある箸をめぐるお話です。想像して下さい。ここに円卓が二つあり、間隔を詰めて座っている人々が円卓の中心にある大皿料理を先ほどの「箸」で食べようとしています。一方の円卓では、腕を横に伸ばして自らの口へ運ぼうとして隣の人に腕や箸が当たり、あちらこ

ちらで「いざこざ」が起きています。他方の円卓では、つまんだ料理を自らの口に運ぶのではなく、程よい距離の人に運ぶので「ありがとうございませす」「おかげさませす」と言葉が行き交っています。この説話は他を氣遣う心の大切さを伝えています。

知らず知らずのうちに「自分だけ良ければいい」と行動しがちな私たちにとって、一つ目の円卓は他人事ではありません。しかし「極楽箸」は、真の幸せには自分の周囲にいる人々の幸せも必要であることを教えてくれますし、世界中の「いざこざ」の原点と解決方法をあぶり出しているようにも感じます。仏教にはこのような力が秘められているのです。

松向寺 通法

## ココドコ

ココはドコ？  
わたしはゆ〜とあ？  
編集部が厳選した  
「にしなり100景」  
大公開！

道に描かれた丸や四角の模様。「けんけんば」を楽しめそうです。ココがドコか知りたい人は、ゆ〜とあいの受付まで！  
なお、ドリンク無料チケットの配布は3月末をもって終了いたしました。このコーナーは引き続き連載しますので、これからもぜひお楽しみください！

【先月号の答え】 出城2丁目3周辺、店舗付き市営住宅(出城東住宅)の店舗部分でした！またシャッターが開く日は来るのでしょうか。



2022年6月撮影

## ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび4月号(vol.194)  
発行日:2023年4月1日(創刊日:2007年1月1日)  
発行:株式会社ナイス  
住所:大阪市西成区長橋3-6-33  
電話:06-6563-1150  
E-mail:info@nice.ne.jp  
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司  
編集:沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あるいはお願)  
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

(株)ナイス  
ホームページ

